



出演者プロフィール

名古屋に音楽の火が灯った日～小池レコード発
目匠達の思い出

馬場 武蔵 Musashi Baba(指揮/トロンボーン)

ベルリン音大、フランクフルト芸大卒。18/19年アンサンブルモデルンアカデミー生。コンゲドイチェフィル、ベルリンドイツオペラ、ギリシャ国立歌劇場、新国立劇場ほかでアシスタントを務め、ジョージ・ベンジャミン、ディーマ・スロポドニューク、アレホ・ペレス、ジョルト・ナジ、ルーカス・フィスほか多数に学ぶ。指揮したオーケストラにノイブランデンブルクフィル、プレーマーハーフェンフィル、アテネ国立管ほか。アンサンブルトーンシーク指揮者。

根本 真澄 Masumi Nemoto(ソプラノ)

福島県出身。郡山女子大学附属高等学校音楽科ヴァイオリン専攻卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学別科卒業。市川市文化振興財団第2回即興オーディション最優秀賞受賞。NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会助成金審査会奨励賞及び音楽賞受賞(第1位)。かながわ音楽コンクール声楽部門プロフェッショナルの部第1位。2023年度日伊コンクール入選。声楽を高橋啓三、平松英子、高橋達也、アンナ=マリア・パーマー、井ノ上了史各氏に師事。即興演奏を平野公崇氏に師事。昭和音楽大学大学院音楽研究科修士課程音楽芸術表現専攻オペラ所属。

蛭牟田 実里 Misato Hirumuta(シンガー)

岐阜県加納高校音楽科で声楽を専攻、昭和音楽大学ミュージカルコース卒業。
卒業後は自分のスタイルを求めて、ジャンルに限定する事なく活動を行い、ミュージカル、クラシック、唱歌、歌謡曲、ジャズ、タンゴ、ボサノヴァ、シャンソン、など様々なステージに立ち研鑽を積む。CDアルバム「あいみるのとき」制作後は各地でソロコンサートを行う

小林 小百合 Sayuri Kobayashi(ピアノ)

3歳よりピアノを始める。京都堀川音楽高等学校をピアノ科首位の成績で卒業する。東京藝術大学を経て、同大学院音楽研究科修士課程を修了。ピティナ・ピアノコンペティション A2, A1, B, D, E 級にて全国大会銅賞、ベスト賞に加え、大阪府知事賞、JEUJIA 賞、読売賞など多くの賞を受賞。東京国際ピアノコンクール第3位。第26回長江杯国際音楽コンクールにて優秀伴奏者賞を受賞。その他多数のコンクールにて入賞。演奏活動の他、立教大学、早稲田大学にてゲストスピーカーとして特別講義を務めるなど、後進の指導にもあたる。これまでにピアノを沼光絵理佳、有森博の各氏に師事。現在、京都堀川音楽高等学校非常勤講師。

下島 万乃 Mano Shimojima(チェロ)

名古屋市生まれ。3歳よりチェロを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。第75回全日本学生音楽コンクール東京大会チェロ部門大学の部第1位。第26回名古屋演奏家育成塾にて聴衆賞、奨励賞、および名古屋市文化振興事業団賞を受賞。名古屋演奏家育成塾第30回記念「ベストソリスト賞」コンペティションにて、審査員特別賞を受賞。その他多数受賞。アンサンブル・トーンシークメンバー。2023年10月よりHITOMIホールアーティストに就任。

河内 容子 Yoko Kawachi(フルート)

名古屋芸術大学音楽学部卒業。フルートを阿部房子、故永長次郎、高木直喜、峰岸壮一の各氏に師事。フルートのルーツであるフラウトトラヴェルソを白井美穂氏に師事。フリーランスのフルート奏者としてオーケストラなどで活動するとともに後進の指導にあたる。一宮市消防音楽隊嘱託演奏員として一宮市内の学校やイベントなどでも活動している。

波馬朝加 Asaka Hama(ヴァイオリン)

徳島県出身。6歳よりヴァイオリンをはじめる。愛知県立芸術大学を経て、同大学大学院音楽研究科博士前期課程首席修了。2008年度優秀学生賞、2011年度中村桃子賞受賞。第42回全四国音楽コンクール第1位。第12回万里の長城杯国際音楽コンクール第3位(1位なし)第21回レ・スプレンドル音楽コンクール室内楽部門第1位等多数受賞。2015・2023年電気文化会館、2018年・2020年ANNEX HITOMI ホールにてリサイタルを行う。これまでに渡辺りえ、林靖子、M. イウラート、吉川朝子、福本泰之、E. ダネル、D. ノーランの各氏に師事。現在は演奏活動を行う他、安城市交響楽団のトレーナーや2019年から2022年まで愛知県立芸術大学で非常勤講師を務める等、後進の指導を行っている。

松浦 絵里奈 Erina Matsuura(ヴァイオリン)

愛知県立芸術大学音楽学部を経て、同大学大学院修了。学内選抜オーディションにより、室内楽のタベ、卒業演奏会、修了演奏会に出演。ヴィオラスペース名古屋2017、リレーコンサート73、読売中部新人演奏会等に出演。京都・国際音楽学生フェスティバル2018、草津夏期国際アカデミー、Opera Classica Europa等に参加。これまでに鈴木亜貴、永田真理子、森下陽子、大関博明、清水高師、辻井淳、日比浩一の各氏に師事。現在、演奏活動を行う傍ら後進の指導にあたる。

中村 真帆 Maho Nakamura(ヴィオラ)

愛知県立明和高等学校音楽科を卒業。愛知県立芸術大学音楽学部、同大学研究生を卒業。第13回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門ファイナル入選。第3回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第3位。ヴィオラスペース2017名古屋に出演。第26回リゾナーレ室内楽セミナーを受講。F.アゴ스티ーニ、V.シュトイデ、U.シュナイダーのマスタークラスを受講。これまでに澤田幸江、神戸潤子、桐山建志、植村太郎の各氏に師事。現在東海地方で室内楽を中心に演奏活動を行う一方、本山を拠点に音楽教室spaceを立ち上げ後進の指導にもあたる。

室内合奏団ensemble grace(オーケストラ)

名古屋工業大学管弦楽団にて学生指揮者、コントラバス奏者として活躍した関康平率いる社会人アンサンブル。多忙な業務の合間を縫って、精力的に演奏活動に取り組んでいる。

倉田 大輔 Daisuke Kurata(Drummer, Percussionist)

1970年滋賀生まれ。愛知で育つ。中学生の頃ギターを始め、愛知大学ブルースターズ・ジャズ・オーケストラでドラムを始める。卒業後名古屋を中心に活動。1999年ニューヨークへ渡り、ジャズのみならずSoul、R&B、ラテン、サルサなど幅広い活動を行う。2006年NYで録音した初リーダーアルバム“A Foreign Sky”発表。また、シアトルで録音された“The East West Alliance”/Jay-Kohama-Ikeda Sextetの3枚のアルバムにレギュラーメンバーとして参加。2006年帰国後、東京を拠点に活動。2011年再び名古屋に拠点を移し活動中。また、音楽教室や朝日カルチャーセンタージャズ講座の講師も務める。

平野 克己 Katsumi Hirano(スクリーン墨絵)

京都府京丹後市生まれ。武蔵野美術大学卒 東京都福生市在住 1999年空間デザイナーから画家へ転身。サンマルコ広場近くのホテル「サボイア ヨランダ」で壁の穴から猫が出てきて各室を見回すシーン【夢】に魅せられて作家活動と作品展を開始。映画撮影に同行して記録画を描く活動の中で映画「おくりびと」のタイトル題字を描く。■2002年「僕の船BCNOFNe」in 恵比寿■2003年「ヴェネチアの目覚まし猫」in 太子堂 ■2004年「Drawing on Venezia」in イタリア、セントエラズモ島、山形県鶴岡市 ■2006「僕の船BCNOFNe TOKYO」in 太子堂 ■2007より映画撮影記録画作品展各地で開催 ■2016年 中華人民共和国 寧波市にて作品世界を壁画などの店舗展開 ■2017「僕の船BCNOFNe 2017」in 池袋

甚目 裕夫 Hiro Hadame(ピアノ、音楽監督)

早稲田大学国際教養学部でオペラの歴史とワークショップを担当ピアニストとしてイタリアを中心とした数々の著名歌手達との共演、交流を得て、イタリア・ザンドナイ国際コンクール審査員を長年歴任。ジェノバ青少年音楽祭、韓国、中国でのマスタークラス等、国際的活動が豊富。近年ベルカントを軸とした発声理論をリベラルアーツの観点から、姿勢、角度、振動、周波数を可視化する研究をトヨタTTDCと組み解析し、開発メーカーWAKONと姿勢補助製品を開発。